**日本の高校生向けピッチ原稿案**

河野洋氏の背景（バイリンガリズム、国際的な経験）や、地図に対する哲学（human element、人生の層、記憶や感情を素材とするKISEKI MAP）を踏まえ、日本の高校生に向けて語りかけるピッチの原稿案です。分かりやすく、心に響くような言葉遣いを意識しました。

**“キセキ”をたどろう**

**思い出を材料にマップを作ろう！**

Maps Are More Than Data　：

Color Your Life with Memory into Maps.

Tracing Our Stories Through Maps.

Hi Everyone！

僕は河野洋と言います。Call me Yoh !

今日は皆さんが毎日使っている「地図」について、ちょっと立ち止まって一緒に考えてみてほしいんです。

待ち合わせ場所を探すとき。新しいお店に行くとき。旅行先でどこを回ろうか決めるとき。皆さんもきっと、毎日一度は地図を使って、何かを決めているはずです。

でも、地図って本当に、ただ場所を示すだけのものなんでしょうか？

僕が世界中の色々な場所で見てきたこと、そしてたくさんの人の話を聞く中で気づいたのは、**地図には、たくさんの「人生」が重なり合っている**ということです。

そこに住む人たちの歴史、一つ一つの決断、喜びや悲しみ、そして出会い。そう、「地図は人生の形であり、人生の層」なんだと僕は信じています。

だけど、今のデジタルな地図を見ていると、何か大切なものが抜け落ちているように感じることがあります。データサイエンスの世界では、人の「生活感」とか「感情」って、プライバシーの問題や「雑音」として、真っ先に削除されてしまいがちなんです。

でも、それって本当の地図じゃないんじゃないかな？ 地図って、そこに生きる人の「思い」や「物語」も映し出すべきじゃないかな？

僕自身、子どもの頃から色々な国で暮らして、たくさんの文化や考え方に触れてきました。日本で生まれて、コロンビア、アメリカ... 5カ国です...。いろんな場所を旅して、いろんな言葉を話す人たちと出会う中で、**一つの場所も、人それぞれに見え方や感じ方が違う**んだと学びました。まるで、同じ場所なのに違う「地図」を持っているみたいに。

特に、東日本大震災の後に福島でフィールドワークをした経験が、僕の考えを大きく変えました。原発事故で故郷を離れざるを得なかった人たちの「データだけでは決して感じ取れない」深い思いや、失われた日常への嘆き。彼らの声を集めて作ったドキュメンタリー映画「Human Error」は、僕にとってまさに「人間の地図」でした。データだけでは伝えきれない福島の「物語」を、人の感情を通して可視化したかったんです。

この経験から、僕はあるプロジェクトを始めました。

その名も「**MeMOriA（メモリア）**」。

これは、「**思い出を素材にした、あなたの地図**」を作る挑戦です。

MeMOriA はスペイン語で思い出。

MeMOriAの「Memo」は接頭語で「記憶」を意味します。

「Memori」は日本語の「メモリ」や「目盛り」で、「新しい、もっと本質的なデータ」という意味を込めて。そして「Ori」は「生まれる」「始まる」という意味です。

つまり、**皆さんの思い出や感情から、新しい地図が生まれる**。

そんなプロジェクトしていきたいという思いを込めています。

その第一弾として考えているのが「**KISEKI MAP（キセキマップ）**」です。

「キセキ」には二つの意味を込めています。「**人生という奇跡**」と、人生の「**軌跡（たどってきた道）**」。そして、旅や人生の中での「出会いや発見のキセキmiracle」です。

この地図では、単なる目的地までの最短ルートを探す代わりに、**「どんな気持ちになりたいか」でルートを選ぶ**ことができます。

例えば...

•「**ROMANCE**」：初めて手をつないだ公園や、ドキドキしたデートの場所1...。

•「**NOSTALGIA**」：子供の頃によく遊んだ秘密基地、懐かしい通学路1...。

•「**ADVENTURE**」：友達と探検した近所の森、迷子になったけど面白かった道1...。

そんな風に、あなたの\*\*「感情」や「体験の種類」をキーワード\*\*に、世界を旅することができるんです。

これは単に面白いだけじゃありません。この地図は、そこに住む人々の暮らしや文化、人生の「層」を映し出すので、**地域の本当の魅力**を伝える新しい方法になります。データだけでは分からない、人々の温かさや、その場所が持っているストーリーを伝えることで、地域への関心や愛着が生まれるかもしれません。

地方創生や地域活性化の「起爆剤」にもなりうるんです。

僕はこのプロジェクトを通して、\*\*データと人の思いを「bridge」（つなぐ）\*\*したいと思っています。そして、皆さんのような若い世代が、自分自身の「地図」を、自分だけの「思い出」や「体験」で描いてほしいと願っています。

皆がこれから歩む道、出会う人々、感じるすべての感情が、あなたの「KISEKI」です。皆の「思い出」、皆の「感情」を、一緒に地図にしてみませんか？

きっと、まだ誰も見たことのない、あなただけの素晴らしい地図が生まれるはずです。

先ほどは、地図が単なる場所を示すデータだけではなく、私たちの人生や思い出、感情といった「**人間の営みや心の層**」が重なり合ったものだ、というお話をしましたね！

そして、あなたの人生という「**奇跡**」、これまでの「**軌跡**」を、思い出を素材に描く地図、「**KISEKI MAP**」について紹介しました。

「MeMOriA」というプロジェクト名にも込めたように、皆さんの大切な「思い出（Memo）」を「新たな、より本質的なデータ（Memori、目盛り）」として、そこから新しい地図が「生まれる（Ori）」、そんな地図の未来を皆さんと一緒に創りたいという思いがあります。

さて！ここからは、そのKISEKI MAPを、**皆さん自身の力で実際に描いてみる時間**です！

今日のワークショップでは、皆さんの心の中にある、**かけがえのない「思い出」や、その場所に対する「感情」を地図の素材**として使います！

単なる建物の場所や道の形ではなく、

「ROMANCE」な場所、「NOSTALGIA」を感じる場所、「ADVENTURE」があった場所…そんな思い出に紐づく**感情や体験の種類を手がかり**に、あなたの人生の道のりや、大切な場所を地図に落とし込んでみましょう！

早速始めましょう！画面のQRコードを携帯でまず読み取ってGoogle formに入りましょう！。。。。。